

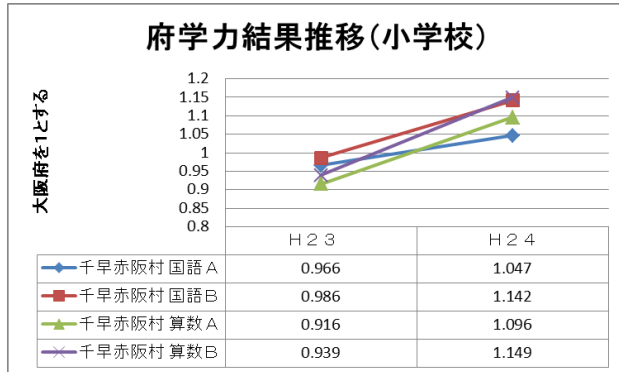
# 四條畷市教育委員会ニュース

内容：

- ・千早赤阪村の教育に学ぶ
- ・学校・家庭・地域が一つとなって

## 実りの秋に！

### ○大阪府南河内郡千早赤阪村の教育に学ぶ



10月1日大阪府学力学習状況調査の市町村ごと結果公表を受けて9日、今年度府内トップになられた千早赤坂村の教育内容から学ぶため、急きょ教育委員会を訪問しました。教育委員会、小学校長からの聞き取りから従前の学力調査結果をもとに教育課題と対応策をもとに努力されてきた五つの視点が明らかになりました、

#### 1 教育課題を明確化する

- ・児童の学力学習状況結果から課題を明確化してきた。
- ・B区分の学力に弱さがあったことから全村で「問題解決

学習」を算数・国語科で取組む・「ねらい→解決の見通しを立てる→じっくり考える→集団の中で発表する→考えを高め合う→自分なりの理解結論を持つ⇒知識技能の獲得」の授業の流れをもとに思考力・判断力・表現力・学習意欲を育ててきた

#### 2 少人数指導・習熟度学習を推進

- ・4年前から算数科において少人数指導・習熟度学習を取り入れてきた
- ・学習理解度による習熟度グループに分ける学習は児童に抵抗があるかと想像していたが、反対にきめ細かな丁寧な指導により児童に喜ばれた
- ・3年生から週3時間算数科で複数の教員によるチームティーチングを実施し、基礎学力の定着を図ってきた



5年算数の授業 3人体制でTT指導

#### 3 教育方針に対し、全教職員が一体となって同じ指導方法を徹底

- ・指導方法を全学年で統一したため、担任の指導の違いによる児童の戸惑いがなくなった
  - ・いろんな考え方を持つ教職員が意見を出し合うことにより合意形成がなされ、指導の統一化を図ってきた
  - ・担任は原則単年度で交代し、持ち上がり制による弊害（指導の偏り）を無くしてきた
  - ・すべての学級で毎朝、朝の読書時間を実施
  - ・教員の指導力向上として、校内授業研修会をオープンにし、他校の参加を積極的に受け入れて全村の研修体制にしている。夏季には、全村研修会を実施し、5教科の講座を設けている
- 小学校外国語活動も文部科学省の研究指定を受け入れ、講師（大学教授の5回講座）を実施している。その他に、大阪教育大学附属小学校の教員を講師陣に招聘

#### 4 校内デジタル化を推進

- ・国の事業を活用し、職員室に職員一人一台の事務用パソコン支給
- ・特別教室も含め、全教室に無線ランルーターを設置、天井つりさげの大型テレビと接続し、ICT活用の学習環境を整備した
- ・無線LAN機能の書画カメラで児童のノートを大型カメラに投影、指導に活用している
- ・校内ランシステムは、村イントラネット内に包含されていて、学校ホームページも単独プロバイダー不要で村ホームページ上に公開されているため、アクセス数は非常に高い

#### 5 地域の協力・尊敬される学校

- ・「学校支援地域本部」を設置し、学校長が直接、地域にボランティアの協力依頼をし、学校をセンターとして教育コミュニティーづくりを強力に推進している
- ・「学校評議員」制度を機能的に活用し、開かれた学校、信頼される学校づくりに積極的に取り組む。そのため

の学校の教育内容を学校だよりや学校ホームページにタイムリーに公開している。

- ・地域の学校・教職員に対する信頼感は非常に高く、地域・保護者と敵対する構図や不信感はない。
- ・地域ボランティア・学生ボランティアの協力による教育活動として

放課後勉強室の開催—毎週金曜日 1~3年生児童対象に高学年児童が下校するまで学校支援地域本部室  
で実施。家庭学習の支援、自主学習の支援

読み聞かせ—地域ボランティアによる図書の読み聞かせ活動を実施。

図書室の整備、貸し出しの協力—図書室の本の整備など読書環境の向上に協力。

四條畷市においても五つの視点に共通する取組みがなされています。引き続き、1 組織的な推進、2 授業づくり  
3 学習規律、4 自学自習力の向上など学校ごとの課題解決に向け努力してまいります。

## ○学校・家庭・地域が一つとなって子どもたちの健やかな成長を！

彼岸花、稲の刈り取り、柿の実の色づきと日に日に秋の彩りを見せています。この間、各学校においては子どもたちの健全育成をめざして様々な取組みが実施されてきました。その中で、田原小学校での「チャレンジ・ザ・スクール 2012」と四條畷南中学校区すこやかネット「つくって あそぼう」の取組みを紹介します。



田原農協による野菜市

野菜市、ハニコウムの鉢植えや手作りの陶芸作品などの出店、ライオンズクラブの協力による「献血」運動が繰り広げられました。子どもたちは友だちや保護者とともに、楽しそうに体験活動に参加していました。

**田原小学校「チャレンジ・ザ・スクール 2012」** 10月20日（土）PTA  
活動の一つとして各種委員会の委員による催しが出されました。

「しおりをつくろう」「くるりんとんぼ」「一円玉落とし」「ストラック  
アウト」「in ドッジビー グレート」「つまんでポイッ」「フリー遊び」。大人向け  
として「フラワーアート小物入れ・ティッシュケース」や地元田原農協からは野



くるりんとんぼを作ったよ

## 四條畷南中学校区すこやかネット「つくって あそぼう」



イス作りに挑戦！

10月21日（日）四條畷東小学校を会場に子どもゆめ基金の助成を受け、地域の子  
どもたちに「物作り体験を通して豊かな感性を育て、地域の皆さんとつながりを深めよう」という目的で実施されました。地元の大工さんの協力による木工作「いす」づくり、体育館では紙工作「折り紙」、クラフト「どんぐりを使ってアクセサリーづくり」カライドサイクル「3D万華鏡」「紙飛行機を作って飛ばそう」や四條畷市観光大使で絵本作家の谷口智則さんと一緒に大きな絵を描こうコーナーもあり、子どもたちは好きな色を使って大きなキャンパスの協同制作にチャレンジしていました。また、第二部として「左手のピアニスト」智内威雄さ



カライドサイクル難しかったよ



紙飛行機を作って飛ばしたよ



智内威雄さんコンサート素晴らしかったよ

んのコンサートも行われました。智内威雄さんは世界的に活躍されているピアニストですが、2001年右手に局所性ジストニアを発症され、リハビリを行う過程で左手によるピアノ演奏に自らの生きる道として追求されるようになったそうです。演奏を聴いていても左手だけとはとても思えない素晴らしい演奏に、胸が熱くなってきました。子どもたちの健やかな成長を願い、大人の皆さんのこうした温かな取組みにより、心豊かな空気に包まれた一日となりました。